

暮らしの  
DX

## 毎日の生活が豊かになる

県民一人ひとりが健康で心豊かな生活を実現  
できる暮らしの実現

## 「手書き」の書類をデジタル化(清泉愛育園)

2020年からデジタルツールを取り入れた清泉愛育園。パソコンが苦手だった園長が「まずはやってみよう」と勇気を出して一歩踏み出した結果、保護者の負担が軽減し、便利さと安心感を提供できるようになっただけでなく、業務の省力化が図られ、職員一人ひとりの業務改善意識の向上にもつながりました。

## 朝の忙しい時間も家事に集中できる 親も保育士も、「子どもと過ごせる時間」が増加

社会福祉法人 清泉福祉会 清泉愛育園 園長 安藤 智子さん

### ■ DXに取り組んだきっかけ

数年前、福祉サービス第三者評価(第三者の評価機関が保育園のサービス内容や質を評価する仕組み)を受けた際に、「施設でICT化をしているか」という設問があり、「できたらいいな」と考えていたのですが、パソコンは得意ではなく、年齢のこともあって「できない」と思っていました。その後、たまたま紹介された保育・教育施設向けの業務支援ツールの説明を聞くうちに、ぼんやりと業務の省力化のイメージができたので、「ちょっと試してみようかな」と軽い気持ちで始めたのがきっかけです。

#### ① 「しなさい」ではなく、「まかせろ」

職員も「似たような書類に何度も手書きする業務を減らしたい」と思っていたようで、デジタルツールを導入することに、あまり反発はありませんでした。デジタルツールに不慣れな職員もいたのですが、「しなさい」ではなく、「できたらいいよね」といったポジティブなメッセージで伝え、私は口だしをしないで、大部分を職員にまかせました。操作に不慣れな職員を他の職員がサポートすることで、自然とコミュニケーションも増えました。今では一人一台タブレットを持ち、ほとんどの書類が手書きから入力になったことで時間に余裕が生まれたので、保育士本来の仕事、「子どもと向き合う時間」に向けられています。



#### ② 負担が減ったと、喜びの声をいただいています。

手書きの連絡帳をデジタル化したことで、朝の忙しい時間帯の負担が減り、「子どもと過ごせる時間が増えた」と喜びの声をいただいています。欠席や遅刻などのやり取りにもデジタルツールを使っています。時間帯を問わず、気兼ねなくご連絡いただけるので、とても手間が省けていると思います。時間に余裕ができたことで、お互いにコミュニケーションを取ることも増え、保護者と園とのつながりもどんどん強くなっていると感じています。

#### ③ ここで働きたいという方が増えています。

見学に来られた保護者は「手書きしなくてもいいのですか!？」と驚かれます。また、職員同士がタブレットを活用しながらコミュニケーションを取る姿を見て、「ここで働きたい!」と、たくさんの保育士が応募してくれます。職員の意識も徐々に変わってきており、コストを意識するようになり、自分の働き方についても考えたりするようになってきました。これまでは、週案や月案(毎週・毎月の指導計画)の作成で残業をする職員が多かったのですが、今ではほとんどいなくなりました。



### DXの取組によるメリット

#### 《保護者側》

- 24時間、気兼ねなく園へ連絡ができる安心感
- 「手書き」の連絡帳がなくなることで、朝の忙しい時間に余裕ができ、子どもとの時間が増える
- 緊急連絡など、タイムリーに受け取れる

#### 《園側》

- 職員同士のスムーズな情報共有
- 「手書き」の書類が減ることで、空いた時間を子どもとの時間に向けられる。
- 仕事に対する職員の意識も変わり、改善意識が向上する

### これからDXの取組をされる方へのメッセージ

パソコンでメールも送れなかった私が、今ではデジタルツールを使って保護者へのアンケートを作ったりしています。デジタルに興味があっても自分ができるか不安の方も多いと思いますが、まずは勇気をもってやってみることでいいと思います。まず一歩を踏み出してみてください。



#### PROFILE

社会福祉法人 清泉福祉会  
清泉愛育園

【所在地】 津市新町1-8-13  
【業 種】 保育園